

SCREEN

大日本スクリーン製造株式会社 2008年3月期第3四半期 決算説明会

2008年2月12日

資料の取り扱い上の注意

本資料および口頭にて提供する将来の当社業績見通しは、直近で知り得る情報をもとに作成したものであります。しかしながら、世界経済やエレクトロニクス業界の技術変化、半導体・FPDパネルの市況など、当社を取り巻く事業環境は急速に変化いたします。つきましては、今後当社の業績見通しが本資料と異なる可能性もございますので、ご了解願います。

なお、本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切捨てで処理しております。比率は百万円単位で計算した結果を四捨五入して処理しております。



2008年3月期第3四半期 決算概要

常務取締役

財務・経理戦略/IR担当 領内 修

本日のアジェンダ

- ◆ 第3四半期連結業績の結果と分析
- ◆ 売上高・営業利益/受注高・受注残高の四半期推移
- ◆ 2008年3月期業績予想
- ◆ 事業環境について
 - ・ 半導体製造装置事業
 - ・ FPD製造装置事業
 - ・ 画像情報処理機器事業

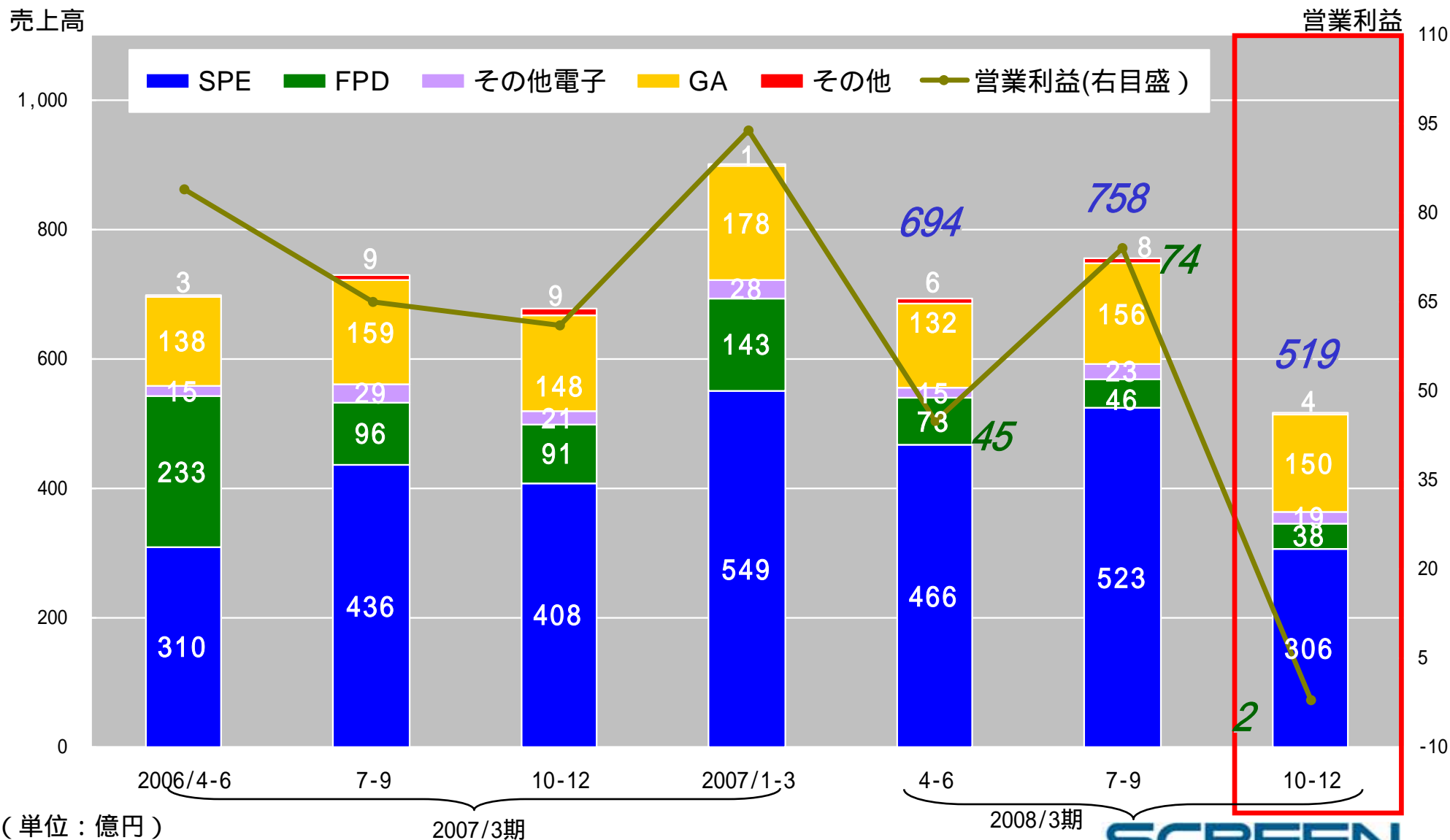
第3四半期連結業績結果

(単位：億円)	2008年3月期			
	3Q (2007年10月～12月)		9ヶ月累計 (2007年4月～12月)	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比
売上高	519	159	1,972	139
売上総利益	134	67	537	113
販売費及び一般管理費	136	3	420	20
営業利益	2	63	117	93
営業利益率	0.5%		6.0%	
経常利益	11	66	80	115
純利益	11	45	43	80

第3四半期連結業績分析

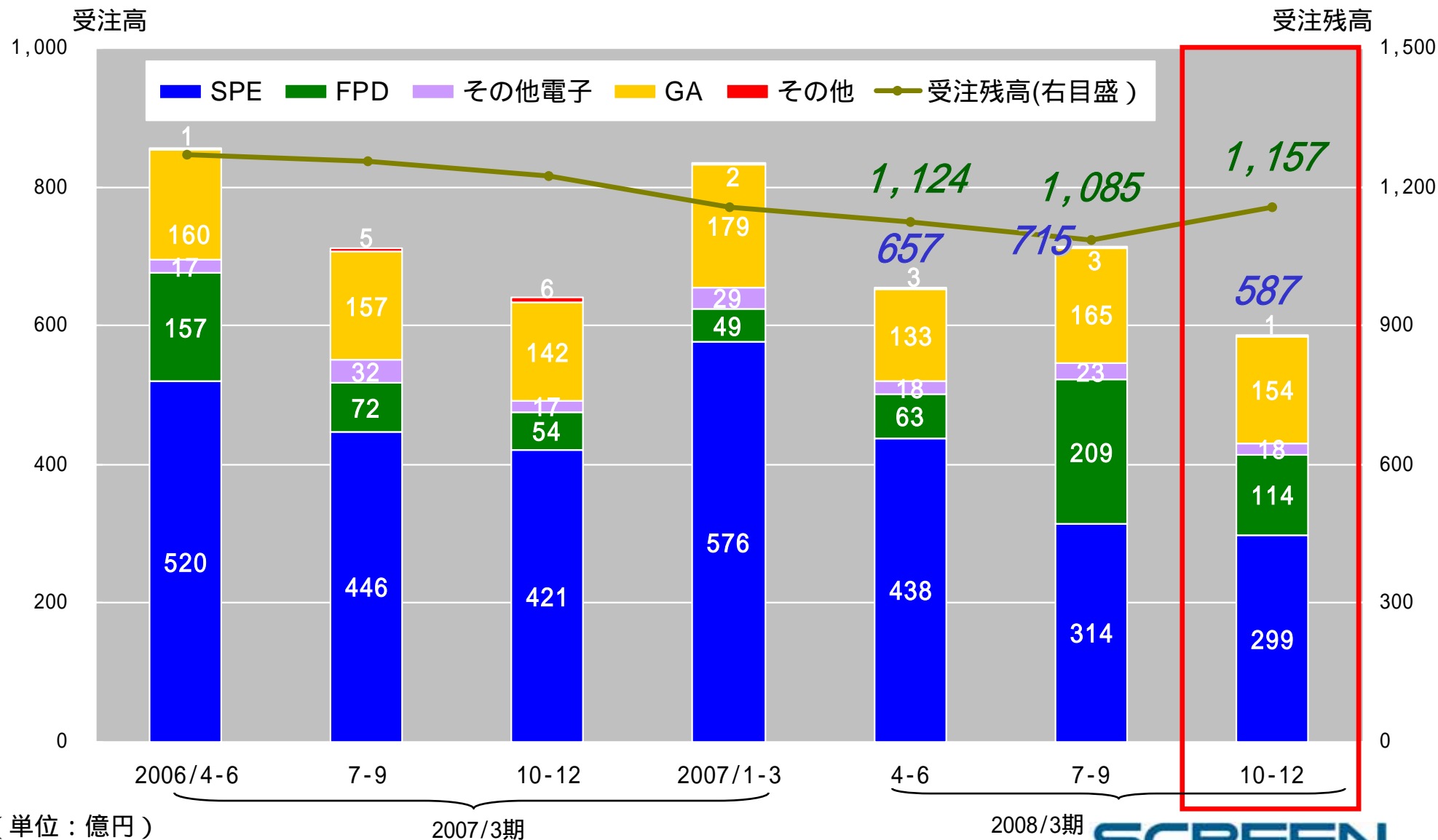
対計画 進捗状況	売上高	通期計画 2,730億円 実績 1,972億円 (進捗比率72.2%) SPE : 1,296億円 (通期計画比76.9%) FPD : 158億円 (通期計画比48.9%) その他電子 : 58億円 (通期計画比65.5%) GA : 438億円 (通期計画比72.8%)
	営業利益	通期計画 155億円 実績 117億円 (進捗比率75.7%) 電子工業用機器 90億円 画像情報用機器 20億円 その他 5億円
前年同期比 FY08/1~3Q vs. FY07/1~3Q (9ヶ月累計)	売上高	139億円 (2,111億円 1,972億円) SPE : 増加 (140億円) FPD : 大幅減 (262億円) GA : 微減 (7億円)
	営業利益	93億円 (211億円 117億円) 電子工業用機器 : 104億円減少 (FPDの赤字化により大きく減少) GA : 13億円増加

売上高・営業利益 四半期推移（連結）



SPEは半導体製造装置、FPDはFPD製造装置、その他電子はプリント配線板製造装置など、GAは画像情報処理機器をそれぞれ示す。

受注高・受注残高 四半期推移（連結）



SPEは半導体製造装置、FPDはFPD製造装置、その他電子はプリント配線板製造装置など、GAは画像情報処理機器をそれぞれ示す。
棒グラフの青文字は、四半期受注高合計を示す。

2008年3月期連結業績予想

(単位：億円)		上期	下期		通期	
		実績	前回予想 (11/12)	今回予想 (2/12)	前回予想 (11/12)	今回予想 (2/12)
売上高		1,452	1,347	1,277	2,800	2,730
	SPE	990	759	694	1,750	1,685
	FPD	120	199	204	320	325
	その他電子	39	60	50	100	90
	GA	288	311	314	600	603
	その他	14	15	12	30	27
営業利益		119	60	35	180	155
経常利益		92	37	0	130	93
当期純利益		54	15	4	70	50
1株当たり配当金(円)					10	10

修正理由

半導体製造装置事業での顧客投資計画延期による売上減少
売上減少によるもの、在庫除却やプロダクトミックスの変化
による営業利益減少

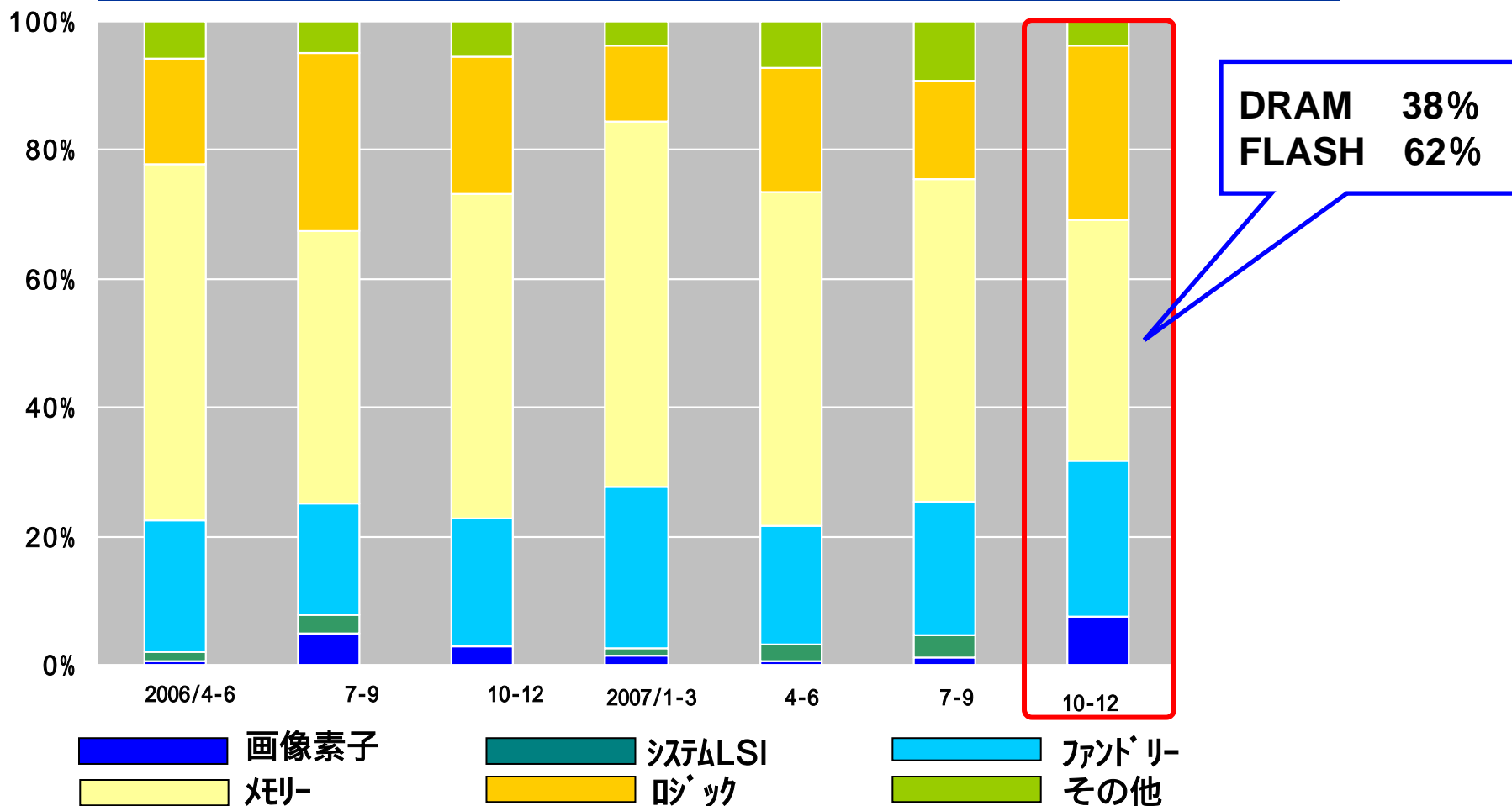
来期の見通し

半導体製造装置事業	上期は低調に推移するも下期回復期待
FPD製造装置事業	V字回復を想定
画像情報処理機器事業	堅調に推移

事業環境について

半導体製造装置事業 デバイス分類別受注比率 四半期推移（単独）

- DRAMは低調、FLASH・ロジックは堅調
- 4Qも厳しく、受注回復タイミングは来期を予想



半導体製造装置事業

1. デバイス別投資予想

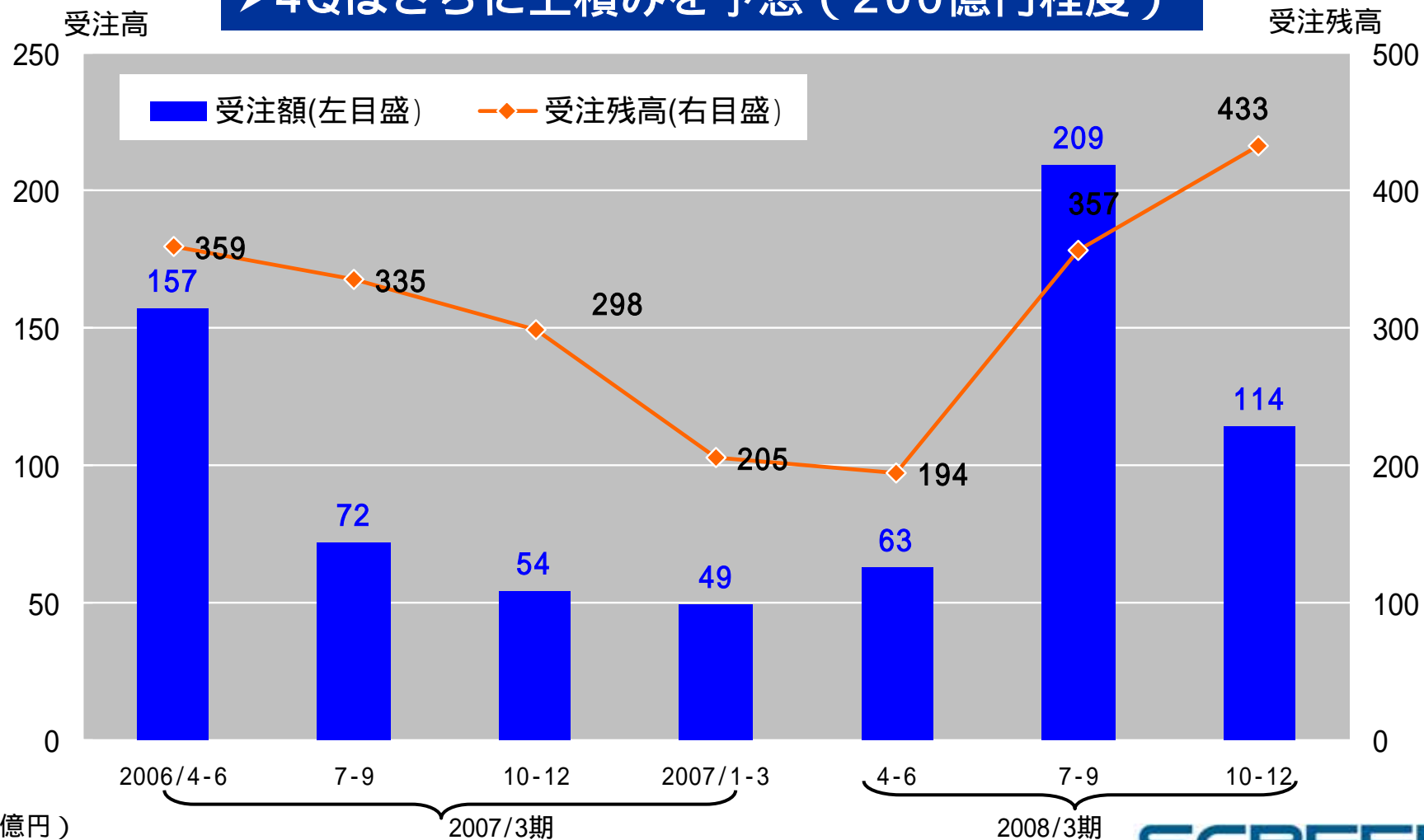
DRAM	一部の顧客による微細化投資は継続するものの調整局面続く
NAND	設備投資は堅調に推移
ロジック	大手顧客の投資は継続
ファブリー	一部に回復基調あるものの不透明感あり

2. 各製品の状況

バッチ式洗浄装置(FC-3100)	新機能の受注開始 (高速搬送機能・新乾燥ユニット)
枚葉式洗浄装置(SU-3100)	BEOL工程でシェアアップ
フラッシュランプアニール	新たな適用工程の開発に注力

FPD製造装置事業 受注高・受注残高 四半期推移（連結）

> 3Qも堅調に推移
 > 4Qはさらに上積み进行予想（200億円程度）



1 . 地域別投資予想

国内	顧客の再編進む。IPS- 社の新工場建設
韓国	2社のG8への投資積極化
台湾	各社とも積極的な設備投資
中国	設備投資は継続

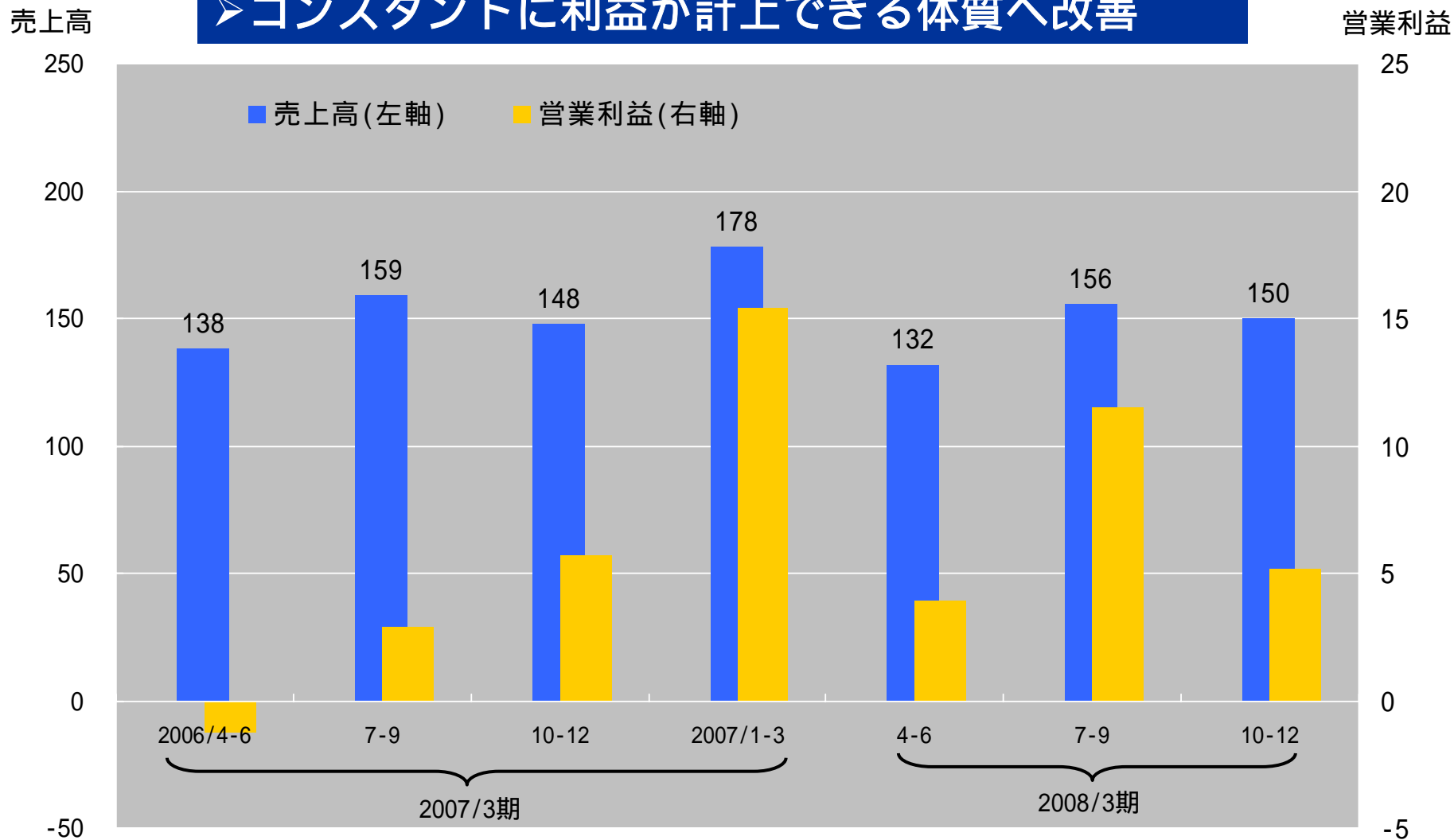
2 . 世代別受注の状況

3 Q (実績) : G6、G8の受注比率増加

4 Q (予想) : G6以上の世代を均等に受注予定

画像情報処理機器事業 売上高・営業利益 四半期推移（連結）

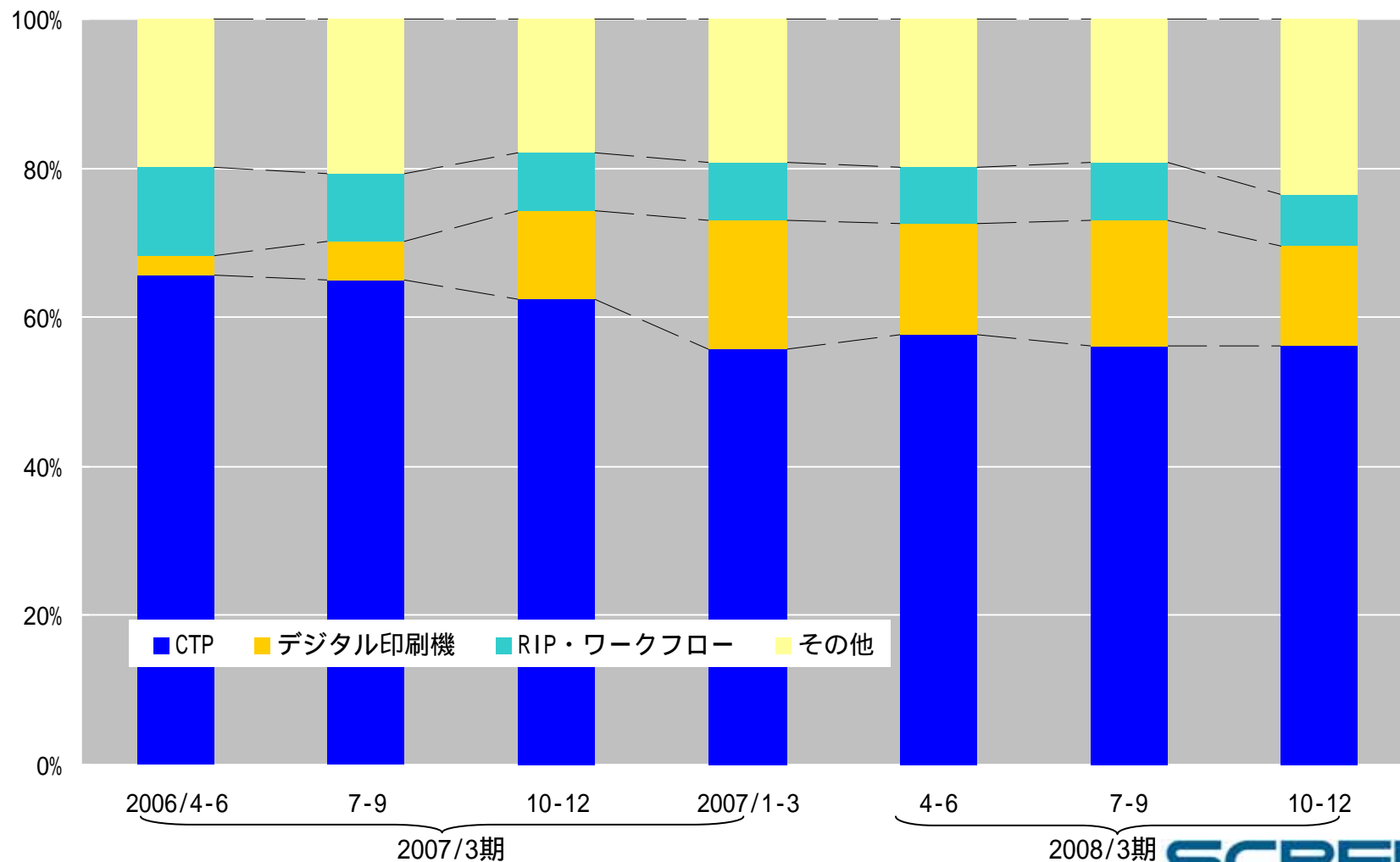
▶ **CONSTANTに利益が計上できる体質へ改善**



(単位：億円)

画像情報処理機器事業 製品別売上高比率 四半期推移（単独）

▶ デジタル印刷機が前期 4 Q から上昇、今後の伸びに期待



SCREEN